

病害虫防除技術情報 第8号

平成30年8月9日

三重県病害虫防除所

**シロイチモジヨトウの発生量が多く、特にネギ類では注意が必要です。
発生を確認したら防除をしましょう。**

1. 対象作物： 野菜類（ネギ類、果菜類）、花き類

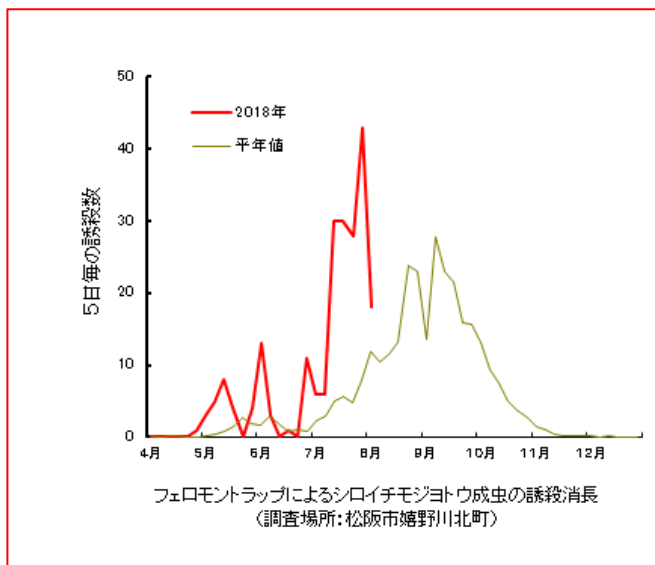
2. 対象病害虫名： シロイチモジヨトウ

3. 発生状況

(1) シロイチモジヨトウのフェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）による誘殺数調査によると、7月第1半旬から7月第6半旬のシロイチモジヨトウ雄成虫の誘殺数は143頭（平成：28.8頭）と平成のおよそ5倍にあたる誘殺数です。（図1）

(2) 1ヶ月予報（名古屋地方气象台 8月2日発表）によると、気温が高い状態が続くと予報されており、今後の発生も増加する見込みです。

(3) 病害虫防除所の8月巡回調査結果では、県内のネギ類の生産ほ場におけるシロイチモジヨトウの発生ほ場率は約43%でした。



(図1) シロイチモジヨトウ誘殺数



(図2) ネギでの被害状況

4. 防除対策

(1) 老齢幼虫になるに従って薬剤の防除効果が劣ります。若齢幼虫のうちに防除するとともに、同一系統の薬剤の連続使用は避けてください。

(2) 野菜類では、果菜類の果実内部やネギ類では葉身内部に侵入し食害されると防除が困難になるとともに、被害が大きいため、こまめに見回り、発生初期の防除に努めてください。

(3) 花き類では、生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなるので、早期発見に努め、農薬の適用に従って防除してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。